

(仮称) 道の駅しろいし整備事業 事業契約を締結しました



しろいしの魅力発信・地域と文化の交流による新たな価値を創造する地域防災拠点
～人々の健やかなところとからだを育む道の駅～

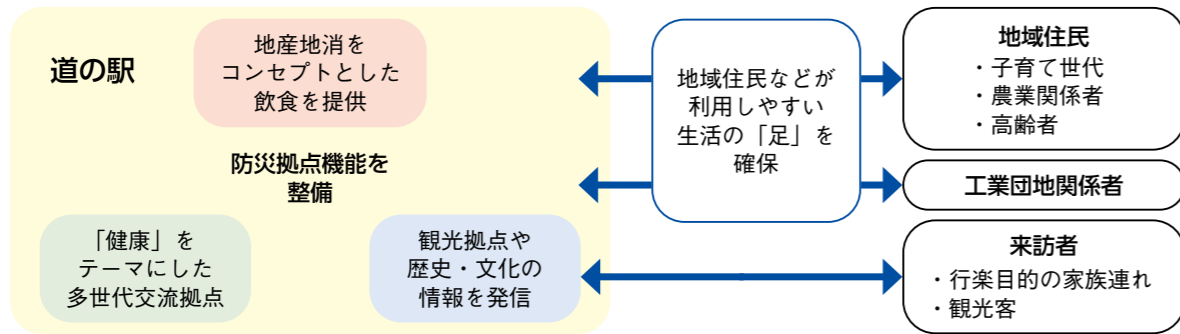
◎都市創造課スマートインターチェンジ・企業立地推進室 ☎26-8884

◆(仮称) 道の駅しろいし整備事業について

(仮称) 道の駅しろいし整備事業は、令和2年10月に事業化された(仮称)白石中央スマートインターチェンジに隣接する敷地を活用して、道の駅と防災公園(スポーツ・レクリエーション施設)を一体的に整備・運営し、人々が交流する拠点としてだけでなく、都市防災、中心市街地との連携などにも寄与する中核的な場の形成を目指すため整備を行うものです。

また、市民の健康増進や生活の充実を起点とし

て、交流人口の拡大や既存の観光施設と連携した周遊ルート形成など、観光をはじめとした地域産業の活性化を図るとともに、城下町としての街並み、受け継がれてきた歴史、伝統、文化、蔵王連峰をはじめとする美しい景観と豊かな自然など多世代が健やかに暮らしやすい環境にも恵まれた、これら白石らしさのさらなる魅力を向上させ、本市の未来に向けて、持続可能な地域社会を構築することを目的としています。



◆着々と進む造成工事とイメージパース



▲着々と進む造成工事 (令和6年6月撮影)



▲(仮称) 道の駅しろいし整備事業 イメージパース

◆令和6年9月27日に事業契約を締結

本市では、令和5年12月25日に募集要項などを公表し、(仮称) 道の駅しろいし整備運営事業者選定委員会での審査結果を踏まえ事業者を決定し、株式会社しろいしグロウパークと事業契約を締結しました。

今後は、株式会社しろいしグロウパークが設計・建設から維持管理・運営までを一括して進め、令和9年7月の開業を目指します。



▲(仮称) 道の駅しろいし整備事業 配置図

病院事業



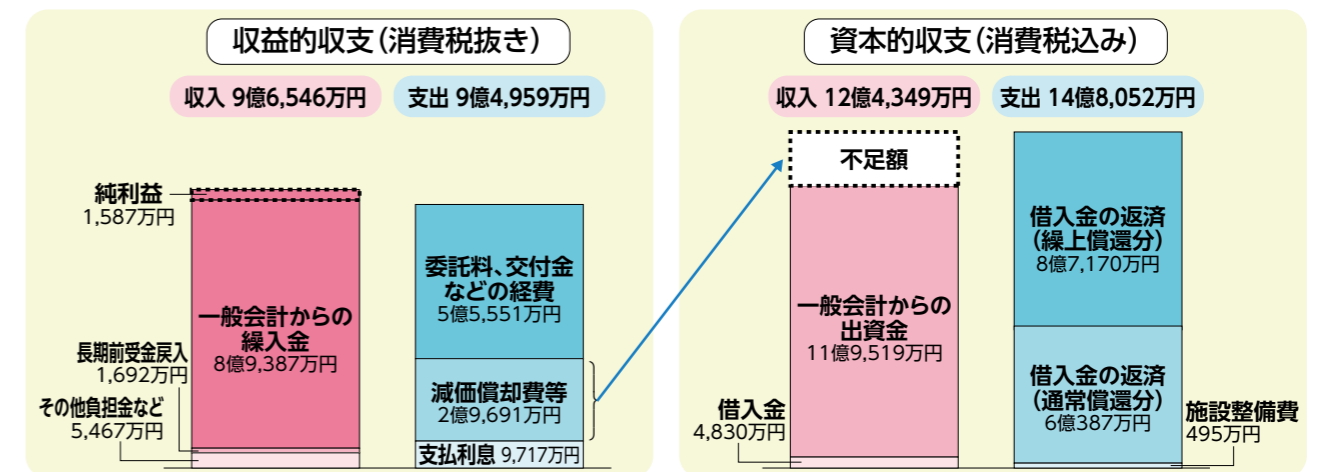
3階病棟ナースステーション前

公立刈田総合病院は、経営形態の見直しに伴い、令和5年4月1日から白石市立の病院として指定管理者制度を導入し運営をスタートしました。

運営に係る経費や診療に伴う収入は、指定管理者の会計となることから、市の病院事業会計では、一般会計からの繰入金を主な財源として、指定管理者への委託料や交付金の支払い、白石市外二町組合から引き継いだ借入金の返済などを行っています。

○令和5年度病院事業会計決算の収支状況

収益的支出には、主に基本協定に基づく指定管理者への委託料や交付金、減価償却費や借入金の利息償還金などを計上しています。また、資本的支出には、借入金の元金償還金や施設整備費を計上しており、令和5年度は、令和3年度に借入を行った特別減収対策企業債の繰上償還を実施しました。



○令和5年度に市の病院事業で実施した主な事業

令和5年度は、施設改良事業として、12月から3階病棟の床の更新工事に着手し、令和6年6月に完了しました。また、1階受付ロビーの照明についても令和6年3月にLED照明に取り換える工事を実施しています。



▲LED照明に改修した1階受付ロビー

○令和5年度の運営状況

経営形態が変更となった令和5年度は、救急患者の受け入れの増加や整形外科手術の再開など、指定管理者による積極的な取り組みにより、病床の稼働率が令和4年度と比較し、大幅に増加しました。

	令和5年度	令和4年度	比較
平均病床稼働率	74.53%	56.47%	18.06ポイント
1日平均入院患者数	113.3人	85.8人	27.5人
救急患者受入件数	3,011件	2,553件	458件

